

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回小金井みんなの給食委員会会議録
事務局	学校教育部 学務課
開催日時	令和5年12月20日（水）午後3時30分～午後4時47分
開催場所	小金井市商工会館 大会議室
出席委員	内田委員、宇野委員、大藏委員、菅野委員、佐藤委員、櫻井委員、齊藤委員、蜂委員、植田委員、小玉委員
欠席委員	大森委員、渡辺委員、田原委員、松田委員、川上委員、佐藤委員、金川委員
傍聴者	0人
会議次第	(1)一言コメント (2)講演会の報告について (3)小金井市の学校給食に対するご意見について (4)教育委員会からの報告 (5)次回の開催について (6)その他
主な意見等	(1)一言コメント (委員) ・農家などの関係者にも給食を食べる機会があると良い。 ・国や都で給食費無償化の流れが出ており、叶うと良いと思う。 ・講演会は体調不良で欠席となり申し訳なかった。 ・講演会は良かった。今後農家の方と顔の見える関係性を作ってもらいたい。また、地産地消を進めるためにできることを考えていきたい。現在地場野菜の割合が何パーセントなのか、目標や課題についても知りたい。 ・学校給食運営協議会があった。この時期ノロウイルス感染者が増えるため、今後も対策をとりながら安全安心な給食提供をしていきたい。 ・学校給食運営協議会の試食の際、地場産野菜の使用に気づいた。調理員の健康管理にも留意したい。 ・生徒の職場体験があり、調理室に入って業務体験をしても

らった。献立も人気があり、残菜がとても少なかった。
・給食室も底冷えする時期になったが、エアコンがあるため快適である。早く全校設置になると良い。
・本日2学期の給食が終了した。特に好評だったのがビックリオムライスの献立だった。

(2)講演会の報告について

(事務局)

当日は38名の参加者があり、25名から回収された結果をみると、全員が「大変満足」又は「満足」の回答で、参加者の満足度の高いイベントとなった。多かったご意見として、「大変満足・満足を選んだ理由」では、

・萩原さんのお話良かった。7件
・グループディスカッションがあり楽しかった。違った立場の人との話が出来た。5件

「地産地消の推進」では、

・学校関係者、JA、農家さんとのコミュニケーション・情報共有 6件

・B級品の使用など課題に対しての仕組みづくり 3件であった。

(委員)

「講演会を何で知ったか」で「その他」は何か。

(事務局)

スクールメールと書いてあった人もいた。正確なところは分からないが、この委員会の委員の方の可能性もある。

(委員)

・スクールメールの配信がなかった学校があったと聞いており残念だった。開催の時間帯も保護者は参加しにくい時間帯だったようだ。個人としては、講演会の形にこだわらず、農家の方との試食会などにしても良いと思う。

・B品やC品については、作業性の問題をクリアし、農家さんとの需給マッチングができると良いと思う。

・講演会に学校栄養士も多く参加していたが、保護者が少なかったこともあり、市政の方針に関わる話も多く、栄養士が参加しにくい雰囲気があった。もっと保護者に対して萩原さんのお話を聴いてもらう機会となると良かったと思う。

・色々な方が参加して、やりとりできたのは良かった。栄養士さんにも農家を知ってもらう機会になったと思う。

・今後同じようなものをブラッシュアップして来年度に繋げていけたら良いと思う。

(会長)

意見交換会は、栄養士や調理員が立場を背負って参加するので、率直な意見を出すのは難しい場合もある。また、B品やC品を学校で使うことが目的となるのではなく、家庭で使

うようになっていくことが大事な訳で、誰を対象に講演会を開催するのか考えていく必要があると思う。

(委員)

目指していた講演会とは違っていたが、こういった関係者が給食について話し合う場も良かったと思う。

(3)小金井市の学校給食に対するご意見について

(事務局)

前回の会議で「給食をより良いものにしていくための考える場としたい」旨のご意見が出され、その後も複数の委員から「地産地消をテーマにしてはどうか」といったご意見や、「他市町村の良い点を学ぶ意味で、ほかの状況を知っている委託事業者から見た小金井市の良い点・課題点を聞いてみるのはどうか」といった様々なご意見をいただいた。

もともと、小金井みんなの給食委員会は、年度当初に、学校給食をより良くしていくための活動内容を会議の中で決めており、今年度は、試食会・農家見学・講演会の3事業が活動内容として決定され、4回の会議開催を予定していた。しかし、試食会と農家見学が昨年度より早い開催となったことから、講演会の検討を行う予定だった会議を、試食会と同日に行った会議の中で検討したため、今回の第3回会議を前に予定事業が終了したという状況である。

そのため、今回の協議内容をどのように設定するか、様々なご意見がある中で事務局として考えた案としては、せっかくの色々な立場の委員が顔を合わせて集まる場なので、それぞれが聞きたいことや知りたいことを自由に質疑する時間にしてはどうかと考えている。その質疑を踏まえて、次回第4回の会議では、各委員のご意見を表明していただく時間を設けてはどうかと考えている。

この会は、委員の皆さまが小金井市の給食を応援するために主体的に活動していただいている会議なので、事務局の意見を一つの参考として、皆様方で検討していただきたい。

(委員)

ほかの自治体の状況を知っている委託事業者から見た、小金井市の良い点や気づいた点があれば聞いてみたい。また、パンやごはんなど日常的な食材がどのように選定されているのか。そして、給食調理について子どもたちに知ってもらう働きかけをどのように行っているのかも知りたい。

(会長)

次回回答する形としたい。

(委員)

肉の偽装問題について、安全が確認できる方法はあるのか。

(学務課長)

今年10月に豚肉の産地偽装報道があり、これを受けて小

金井市立学校給食食材を確認したところ、1校で当該事業者の製品を納入していたことが確認された。当該校の保護者へは別途通知を行い、市ホームページでも公表している。現在、事実関係を警察で捜査中である。

(委員)

供給業者がルールを逸脱した場合の契約書を交わしているのか。

(学務課長)

今回は加工業者の産地偽装であり、市の取扱事業者が直接偽装した訳ではない。逸脱した場合の契約書としては特に交わしていない。

(委員)

- ・顔の見える関係性が大切になってくると思う。
- ・何らかのルール逸脱に対する考えがあると良い。
- ・10年位前に方針と異なる食材を納品したことがあった。2年に1度でも納入業者側に指針を示す機会があったほうが良いのではないか。
- ・指針がベースとなっているので、委員や委託業者など関係者が知る必要があるので、周知が必要である。
- ・どのような食材が使われているのか知りたい。他自治体では国産小麦のパンや有機の米を選定している例もある。地産地消については、現状何割使っていて、目標は何割か、現場の課題は何か。年間契約栽培などで計画的に使用することはできないか次回話したい。

(会長)

- ・食の選定に関する質問と地産地消に関する質問については、事務局でどのような情報を次回出せるか検討いただきたい。
- ・他自治体との比較については、業者の皆さんに知っている情報があれば教えていただきたい。
- ・給食室の業務に関する子どもたちへの周知については、栄養士にお願いしたい。
- ・業者への指針の周知に関しては、事務局の考えを次回話してもらいたい。

(委員)

- ・調理員の労働環境について知りたい。エアコンが最近ついたという話を聞いたが、どのようになっているのか。
- ・予算をみると、教育費が他市に比べると極端に低い。

(会長)

労働環境は我々が言うことではないので、ご意見として受け止める。

(委員)

今はエアコンがついているのか。前はスポットクーラーという話だったと思う。

(学務課長)

全校すぐにエアコンを設置できないので、まずスポットクーラーを全校に置いた。エアコンは順次整備している。

(会長)

エアコンの設置状況については、次回改めて事務局から説明してもらいたい。

(4)教育委員会からの報告

(学務課長)

・小金井第一小学校給食調理委託事業者の選定結果について
10月2日から募集を行い、11事業者から受託意向書類の提出を受けた。書類による1次選考の結果、3事業者が2次選考に進み、2次選考は11月20日に公開プレゼンテーションで実施した。その結果、一富士フードサービス株式会社さんが選定され、現在契約締結の途中である。

今後、事業者において従業員の募集や、市との引継ぎを行い、令和6年4月からの調理業務委託を行っていく。

・今後の学校給食調理業務の委託について

小金井第一小学校の給食調理業務を委託すると、東小学校、本町小学校の2校が市の直営で調理業務を実施することとなるが、この2校について、令和8年4月から学校給食調理業務を民間事業者に委託することを、先月職員団体と合意した。このことにより、市内の市立小中学校14校全てで学校給食調理業務を民間事業者に委託することとなる。

これから令和8年4月に向けて準備を進めていく。令和6年1月から2月までに東小学校及び本町小学校の保護者説明会を実施し、令和7年9月に債務負担行為という補正予算を議会に提案、令和7年11月に公開プレゼンテーションによる事業者選定を行った上、令和8年3月まで事業者との打合せ、引継ぎ、令和8年4月から調理業務の委託開始を予定している。

今後も、全ての市立小中学校は、「小金井市学校給食の指針」に基づき、自校方式で調理し、各学校に栄養教諭・栄養士を配置して、「安全でおいしく温かい給食」を提供していく。

(委員)

調理員さんはどのようになるのか。

(学務課長)

ほかの職場に異動となる方もいる。

(委員)

・これまでは直営校と委託校を比較する形で質を保ってきたが、今後はどのように質を高めていくのか。

・委託化の理由はコストメリットなのか。

(学務課長)

行政として、最小の経費で最大の効果をあげることが命題となっている。民間事業者の力を活用しながら、生み出され

	<p>た財源も教育に活用していく。</p> <p>(委員) 伝統や自治体の風土を守っていくのは栄養士の先生であり、事業者はその指示の下、安全とおいしさを守って調理する役割である。</p> <p>(会長) 委員構成から考えて、この会議の議題としては適さないため、何か質問等あれば直接事務局へお願いしたい。</p> <p>(5)次回の開催について (事務局) 次回の開催日程は令和6年1月19日(金)午後3時30分からの開催を予定している。場所が決まり次第連絡する。</p> <p>(6)その他 (委員) 学校給食運営協議会は以前からあるのか。 (委員) 委託校が行っている会議で、従前から開催されているものである。</p>
<p>決定事項</p>	<p>(3)小金井市の学校給食に対するご意見について 次回会議では、今回出された質問についての回答(情報提供)を聴き、委員それぞれが意見を表明することとなった。</p>
<p>次回の開催</p>	<p>令和6年1月19日(金)午後3時30分～(場所未定)</p>